

臨床研修の到達目標



【到達目標】

医師は、やめる人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を習得する。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
- B 資質・能力
- C 基本的診療業務

臨床研修の基本理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

研修ノートは、臨床研修の進捗度を把握するものです。お手元に置いて経験したものをできるだけ速やかに評価してもらってください。

臨床研修は、厚生労働省より到達目標が示されています。2年間の研修期間に到達目標を達成することが修了の条件になることから、研修に臨む先生方もこの到達目標を意識した取り組みをお願いいたします。

<記録方法>

- ・ 経験すべき症候、疾病・病態、その他（経験すべき診察法・検査・手技等）、必須項目研修、医療行為についての指針は、経験した際に各診療科の責任者のサイン（必須項目研修はプログラム責任者でも可）をもらってください。評価が上がったと判断した場合は、その時点の診療科の責任者にサインをもらってください。
- ・ 研修医評価票Ⅰ～Ⅲは、診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者及び看護師長（放射線科を研修中の場合は放射線科技師長）に総務課から評価を依頼します。記載してもらった評価票は櫻本先生と研修医の皆さまにお渡しするので、研修ノートに綴ってください。
- ・ 臨床研修医指導報告書も、診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者に総務課から記載を依頼します。評価票同様、お手元に届きましたら研修ノートに綴ってください。
- ・ 一般外来研修の実施記録表は、地域医療の研修先には、必ず記載をお願いしてください。院内で一般外来の研修を実施した診療科がありましたら、診療科の責任者に記載をお願いしてください。

（一般外来の研修先例：総合診療科外来、一般内科外来、一般外科外来、小児科外来など）

※この研修ノートの記録とは別に、研修評価システム「E P O C 2」の自己評価をオンライン入力してください。（入力のご案内は別途お送りします。）

経験すべき症候－29症候－

下記の症候を経験し、病歴要約を提出する。経験し、病歴要約を提出した場合は診療科責任者のサインをもらう。

※「経験」とは、外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行うこと。

経験	病歴要約
	※「・」で結ばれている症候はどちらかを経験すればよい。
	(1) ショック
	(2) 体重減少・るい瘦
	(3) 発疹
	(4) 黄疸
	(5) 発熱
	(6) もの忘れ
	(7) 頭痛
	(8) めまい
	(9) 意識障害・失神
	(10) けいれん発作
	(11) 視力障害
	(12) 胸痛
	(13) 心停止
	(14) 呼吸困難
	(15) 吐血・喀血
	(16) 下血・血便
	(17) 嘔気・嘔吐
	(18) 腹痛
	(19) 便通異常(下痢・便秘)
	(20) 熱傷・外傷
	(21) 腰・背部痛
	(22) 関節痛
	(23) 運動麻痺・筋力低下
	(24) 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
	(25) 興奮・せん妄
	(26) 抑うつ
	(27) 成長・発達の障害
	(28) 妊娠・出産
	(29) 終末期の症候

経験すべき疾病・病態 - 26 疾病・病態 -

下記の疾病・病態を経験し、病歴要約を提出する。経験し、病歴要約を提出した場合は診療科責任者のサインをもらう。

※「経験」とは、外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたり、予防の視点、社会経済的な視点で疾病を理解すること。

※経験できなかった疾病は座学で代替すること。

経験	病歴要約
	(1)脳血管障害
	(2)認知症
	(3)急性冠症候群
	(4)心不全
	(5)大動脈瘤
	(6)高血圧
	(7)肺癌
	(8)肺炎
	(9)急性上気道炎
	(10)気管支喘息
	(11)慢性閉塞性肺疾患(COPD)
	(12)急性胃腸炎
	(13)胃癌
	(14)消化性潰瘍
	(15)肝炎・肝硬変
	(16)胆石症
	(17)大腸癌
	(18)腎盂腎炎
	(19)尿路結石
	(20)腎不全
	(21)高エネルギー外傷・骨折
	(22)糖尿病
	(23)脂質異常症
	(24)うつ病
	(25)統合失調症
	(26)依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博のいずれか)

その他（経験すべき診察法・検査・手技等）

a=十分できる b=できる c=要努力（3段階評価）該当するところに診療科責任者にサインをもらう。

(1) 医療面接

a	b	c

患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施するために、

①医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。

②患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる。

③患者・家族への適切な指示、指導ができる。

(2) 身体診察

a	b	c

病態の正確な把握ができるよう、全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記載するために、

①全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む。）ができ、記載できる。

②頭頸部の診察（眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む。）ができ、記載できる。

③胸部の診察（乳房の診察を含む。）ができ、記載できる。

④腹部の診察（直腸診を含む。）ができ、記載できる。

⑤泌尿・生殖器の診察（産婦人科的診察を含む。）ができ、記載できる。

⑥骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。

⑦神経学的診察ができ、記載できる。

⑧小児の診察（生理的所見と病的所見の鑑別を含む。）ができ、記載できる。

⑨精神面の診察ができ、記載できる。

(3) 臨床推論

a	b	c

病歴情報と身体所見に基づいて、行うべき検査や治療を決定するために、

②検査や治療の実施にあたって必須となるインフォームドコンセントを受ける手順を身に付ける。

③見落とすとしにつながるKiller diseaseを確実に診断できる。

(4) 臨床手技

a	b	c

基本的手技の適応を決定し実施するために、自身で

①気道確保を実施できる。

②人工呼吸を実施できる。（バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。）

③胸骨圧迫を実施できる。

(6)地域包括ケア・社会的視点

a	b	c

以下の症候や疾病・病態等について、社会的な視点から理解し、対応するため、もの忘れ、けいれん発作、心停止、腰背部痛、抑うつ、妊娠・出産、脳血管障害、認知症、心不全、高血圧、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、腎不全、糖尿病、うつ病、統合失調症、依存症などについては、患者個人への対応とともに、社会的な枠組みでの治療や予防の重要性について理解する。

(7)診療録

a	b	c

チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理するために、

①診療録(退院時要約を含む。)をPOS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる。

②処方箋、指示箋を作成し、管理できる。

③診断書、死亡診断書、死体検案書その他の証明書を作成し、管理できる。

必須項目研修

下線の項目を経験する。経験した場合は診療科責任者又はプログラム責任者のサインをもらう。

(1)感染対策(院内感染や性感染症等)

研修目的:公衆衛生上、重要性の高い結核、麻疹、風疹、性感染症などの地域や医療機関における感染症対策の実際を学ぶとともに、各診療科の診療に関連する感染症の感染予防や治療、院内感染対策における基本的考え方を学ぶ。

経験

①研修医を対象にした系統的な感染症のセミナーに出席する。

②院内の感染対策研修に出席する。

③性感染症に対する現場での対応に可能な範囲で携わる。

(2)予防医療(予防接種を含む)

研修目的:法定健(検)診、総合健診、人間ドック、予防接種などの予防医療の公衆衛生上の重要性和各種事業を推進する意義を理解する。

経験

①医療機関あるいは保険者や自治体等が実施する検診・健診に参加し、診察と健康指導を行う。

②予防接種の業務に参加する場合は、予防接種を行うとともに、接種の可否の判断や計画の作成に加わる。

(3)虐待

研修目的:主に児童虐待において、医療機関に求められている早期発見につながる所見や徴候、及びその後の児童相談所との連携について学ぶ。

経験

①虐待に関する研修(BEAMS等)を受講する。

②①と同様の研修等を受講した小児科医による伝達講習や、被虐待児の対応に取り組んだ経験の多い小児科医からの講義を受ける。

※①②どちらかの経験でよい。

(4)社会復帰支援

研修目的:診療現場で患者の社会復帰について配慮できるよう、長期入院などにより一定の治療期間、給食や離職を強いられた患者が直面する困難や社会復帰のプロセスを学ぶ。

経験

①長期入院が必要であった患者が退院する際、ソーシャルワーカー等とともに、社会復帰支援計画を患者とともに作成し、外来通院時にフォローアップを行う。

(5) 緩和ケア

研修目的: 生命を脅かす疾患に伴う諸問題を抱える患者とその家族に対する緩和ケアの意義と実際を学ぶ。緩和ケアが必要となる患者での緩和ケア導入の適切なタイミングの判断や心理社会的な配慮ができるようになる。

経験

①内科や外科、緩和ケア科などの研修中、緩和ケアを必要とする患者を担当し、緩和ケアチームの活動などに参加する。

②緩和ケアについて体系的に学ぶことができる講習会等を受講する。

※参考: 厚生労働省 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 (e-learning)

<https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html>

(6) アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

研修目的: 人生の最終段階を迎えた本人や家族等と医療・ケアチームが、合意のもとに最善の医療・ケアの計画を作成することの重要性とそのプロセスを学ぶ。

経験

①内科、外科などを研修中に、がん患者等に対して、経験豊富な指導医の指導のもと、医療・ケアチームの一員としてアドバンス・ケア・プランニングを踏まえた意思決定支援の場に参加する。

②ACPIについて体系的に学ぶことができる講習会などを受講する。

(7) 臨床病理検討会 (CPC)

研修目的: 剖検症例の臨床経過を詳細に検討して問題点を整理し、剖検結果に照らし合わせて総括することにより、疾病・病態について理解を深める。

経験

①死亡患者の家族への剖検の説明に同席し、剖検に立ち会う。

②症例提示を行い、フィードバックを受け、考察を含む最終的なまとめまで行う。

研修医評価票 I

「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価

診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者及び看護師長(放射線科は放射線科技師長)に評価をいただきます。

研修医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 医師 医師以外(_____)

観察期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

記載日 _____ 年 月 日

	レベル 1 期待を 大きく 下回る	レベル 2 期待を 下回る	レベル 3 期待 通り	レベル 4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

研修医評価票Ⅱ

「B.資質・能力」に関する評価

診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者及び看護師長(放射線科は放射線科技師長)に評価をいただきます。

研修医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 医師 医師以外(_____)

観察期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

記載日 _____ 年 月 日

レベルの説明

レベル1	臨床研修の開始時点で期待されるレベル(モデル・コア・カリキュラム相当)
レベル2	臨床研修の中間時点で期待されるレベル
レベル3	臨床研修の終了時点で期待されるレベル(到達目標相当)
レベル4	上級医として期待されるレベル

1.医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4	<input type="checkbox"/> 観察機会なし
<input type="checkbox"/> 医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 <input type="checkbox"/> 患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマの存在を認識する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。	
	<input type="checkbox"/> 利益相反の存在を認識する。	<input type="checkbox"/> 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	<input type="checkbox"/> 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	

総合評価

レベル1 <input type="checkbox"/>	レベル2 <input type="checkbox"/>	レベル3 <input type="checkbox"/>	レベル4 <input type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

コメント _____

2.医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4	
<input type="checkbox"/> 必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。 <input type="checkbox"/> 講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。	<input type="checkbox"/> 頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。	<input type="checkbox"/> 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。	<input type="checkbox"/> 主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。	<input type="checkbox"/> 観察機会なし
	<input type="checkbox"/> 基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。	<input type="checkbox"/> 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	<input type="checkbox"/> 患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。	
	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

3.診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4	
<input type="checkbox"/> 必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 <input type="checkbox"/> 緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。	<input type="checkbox"/> 必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて、安全に収集する。	<input type="checkbox"/> 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	<input type="checkbox"/> 複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	<input type="checkbox"/> 観察機会なし
	<input type="checkbox"/> 基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。	<input type="checkbox"/> 患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。	<input type="checkbox"/> 複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。	
	<input type="checkbox"/> 最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。	<input type="checkbox"/> 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	<input type="checkbox"/> 必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成でき、記載の模範を示せる。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

4.コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で 期待されるレベル)	レベル4	観察 機会 なし
<input type="checkbox"/> コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。 <input type="checkbox"/> 良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。 <input type="checkbox"/> 患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。 <input type="checkbox"/> 患者の要望への対処の仕方を説明できる。	<input type="checkbox"/> 最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。 <input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。	<input type="checkbox"/> 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。 <input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	<input type="checkbox"/> 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。 <input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。	
	<input type="checkbox"/> 患者や家族の主要なニーズを把握する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。	

総合評価

レベル1 <input type="checkbox"/>	レベル2 <input type="checkbox"/>	レベル3 <input type="checkbox"/>	レベル4 <input type="checkbox"/>
コメント			

5.チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で 期待されるレベル)	レベル4	観察 機会 なし
<input type="checkbox"/> チーム医療の意義を説明でき、(学生として)チームの一員として診療に参加できる。 <input type="checkbox"/> 自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求められることができる。 <input type="checkbox"/> チーム医療における医師の役割を説明できる。	<input type="checkbox"/> 単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。 <input type="checkbox"/> 単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	<input type="checkbox"/> 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。 <input type="checkbox"/> チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	<input type="checkbox"/> 複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。 <input type="checkbox"/> チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。	

総合評価

レベル1 <input type="checkbox"/>	レベル2 <input type="checkbox"/>	レベル3 <input type="checkbox"/>	レベル4 <input type="checkbox"/>
コメント			

6.医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4	□ 観察機会なし
<input type="checkbox"/> 医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。	
	<input type="checkbox"/> 日常業務において、適切な頻度で報告、連絡、相談ができる。	<input type="checkbox"/> 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	<input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。	
	<input type="checkbox"/> 一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療事故等の予防と事後の対応を行う。	<input type="checkbox"/> 非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。	
	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。	<input type="checkbox"/> 自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

7.社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で期待されるレベル)	レベル4	□ 観察機会なし
<input type="checkbox"/> 離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 <input type="checkbox"/> 医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 <input type="checkbox"/> 災害医療を説明できる <input type="checkbox"/> (学生として)地域医療に積極的に参加・貢献する	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度を理解する。	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 健康保険、公費負担医療の制度を理解する。	<input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。	
	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解する。	<input type="checkbox"/> 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	
	<input type="checkbox"/> 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	<input type="checkbox"/> 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

8.科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で 期待されるレベル)	レベル4	観察 機会 なし
<input type="checkbox"/> 研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点を認識する。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点を研究課題に変換する。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。	
<input type="checkbox"/> 生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を理解する。	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を理解し、活用する。	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。	
	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験の意義を理解する。	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

該当のレベル項目にチェックを入れてください。観察機会がなかった場合は「観察機会なし」にチェックを入れてください。

レベル1 (モデル・コア・カリキュラム)	レベル2	レベル3 (研修終了時で 期待されるレベル)	レベル4	観察 機会 なし
<input type="checkbox"/> 生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。	
	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。	
	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握し、実臨床に活用する。	

総合評価

レベル1	<input type="checkbox"/>	レベル2	<input type="checkbox"/>	レベル3	<input type="checkbox"/>	レベル4	<input type="checkbox"/>
コメント							

研修医評価票Ⅲ

「C. 基本的診療業務」に関する評価

診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者及び看護師長(放射線科は放射線科技師長)に評価をいただきます。

研修医名 _____

研修分野・診療科 _____

観察者 氏名 _____ 区分 医師 医師以外(_____)

観察期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

記載日 _____ 年 月 日

	レベル 1 指導医の直接の監督の下でできる	レベル 2 指導医がすぐに対応できる状況下でできる	レベル 3 ほぼ単独でできる	レベル 4 後進を指導できる	観察 機会 なし
C-1. 一般外来診療 頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-2. 病棟診療 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-3. 初期救急対応 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C-4. 地域医療 地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。

臨床研修医指導報告書

診療科のローテーション終了時ごとに、各診療科の責任者に記載いただきます。

研修医名

研修分野・診療科

報告医師

研修期間

年 月 日

~

年 月 日

記載日

年 月 日

実施した指導の概要